

グループ名	ユニット名等	科目名	担当教員名	対象学年次	学期
自己発見	2単位 地域を知る	地域フィールドワーク	田中 一雄	2年次	秋

授業のキーワード	まちを知る、むらを知る、群馬を知る
授業の概要	地域に長く住んでいても、自分たちの地域の良さや価値を見落としがちです。この授業では、群馬のことを多角的に学び合うことで、群馬の魅力や価値をもう一度見つめなおしてみましょう。講義中心でなく、全員参加型で議論しながら進めていきます。また、実際にフィールドワークを体験してみましょう。(参加型の授業なので、なるべく休まず出席してください)
期待される学習成果(目標)	1 地域社会、特に群馬の地域社会の現状を知ることができます。 2 フィールドワークの実施により、社会調査の手法を知るとともに相手方との折衝能力を高めます。 3 調査対象を自らが決めるとともに調査結果のプレゼンを行うことができます。

授業展開

	テーマ	内 容		テーマ	内 容
第1講	イントロダクションー群馬を知る	地域の価値は経済力だけでなく、風土や歴史、文化など、多角的な観点から評価できます。群馬を探索して今まで気づかなかった面白さを知りましょう。	第9講	地域の「魅力」を語ろう	もし、県外から友人が来たらどこへ案内しますか？観光を意識しながら、群馬にある面白いスポットを紹介してみましょう。また、県や市町村が発行する観光パンフレット、旅行ガイドなどのように群馬を紹介しているか調べてみましょう。
第2講	「地域の価値」を語ろう	自然、風景、建物、イベントなど、普段はあまり気づき留めない地域の価値です。そういったものを紹介してみましょう。	第10講	観光をプロデュース！①	自分が面白いと思いき、ぜひ人にも勧めたいと思うスポットやお店をいれて観光コースを考え、紹介してみましょう。
第3講	フィールドワークの方法	フィールドワークに必要な調査の方法について学びます。	第11講	観光をプロデュース！②	観光ソースを考える第2回目です。
第4講	群馬県の工業開発、企業立地	群馬県は全国有数の内陸工業県。どのように工業開発が行われ、こんな企業が立地しているか調べてみましょう。	第12講	群馬の文化を知ろう	文学や音楽など現代の群馬文化の担い手を知るなどして、地域の文化を読み解いてみましょう。
第5講	立地企業を調べてみよう	群馬県に立地している企業を対象にどんなことについて調査したらよいか、考えてみましょう。	第13講	若い人の暮らし①	群馬で、主若いが集まる場所（居場所）を紹介してみましょう。また、なぜそこへ集まるのか考えてみましょう。
第6講	「地域」×「キャラクター」＝魅力	今、ゆるキャラが観光を呼びこみます。群馬にもたくさんゆるキャラがあります。また、ローカルヒーローもあります。それらを調査してみましょう。 ※第6講から数回にわたって、フィールドワーク調査 part 2 の調査対象の選定やグループ分けを行います。	第14講	若い人の暮らし②	地域におよび若い人が快適に暮らせるような仕組みについて、政令や行政などのようなことを期待するか議論してみましょう。
第7講	「食」を紹介してみましょう	群馬の代表的な料理がないといわれますが、全国的には有名でもなくとも自然環境を生かした様々な食材や料理があります。地域の料理からB級グルメまで面白い料理を調べてみましょう。	第15講	フィールドワーク調査 part 2 発表	フィールドワーク調査 part 2 の結果について発表と講義を絡めます。
第8講	フィールドワーク調査 part 1 (立地企業調査)	調査結果を各自が発表します。	定期試験		定期試験は、レポートとする予定。
評価方法		調査結果の発表とレポートによる。			
使用する教科書(必ず購入してください)			参 考 文 献		
必要に応じ、資料等を配布します。			田村明著「まちづくりの実践」(岩波書店・岩波新書) 群馬県編『「上毛かるた」で見つける群馬のすかた』(群馬県発行) 熊倉浩清編『群馬県遊歩き散歩』(KADOKAWA(新人物往来社)・新人物文庫)		